

またまた記録的大型台風と大被害 被災された皆様にお見舞い申し上げます

秋は意外に足早にやってきて「草原」三部合唱発表ももう間近



家族の姿に重なる歌 とくに母さんの思い出

リクエスト月間④

四月のチャリティ・リクエスト月間で歌われた曲を紹介して今号が四回目になります。曲にまつわる思い出をメモしていただいたのですが、いちばん多いのは、なんといっても家族のこと。なかでも、お母さんの思い出を歌に重ねてリクエストなさった方が何人もいらっしゃいました。

「お母さんの思い出」と言われてなるほどねと思わされる曲は『隣組』。「食事の支度をしている母の後姿が目に浮かんでます」「母が口づさんでいたなつかしい歌。昔の長屋的な人間関係を今さらながら大切にしたい一曲となりました」とのメッセージが寄せられました。たしかに、さわうたでは「こういう地域関係が今はなくなっちゃって・・・」と話しながら地域コミュニティ再生ソングのように歌っていますが、もともとは戦時中、当時の軍事国家が住民の相互監視機構として昔からあった隣組を活用した時の国策イメージソングとして作られたものです。吉永小百

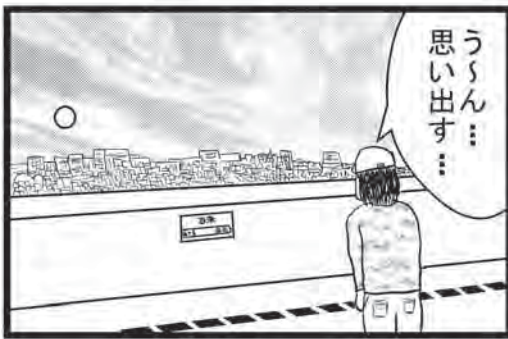
合主演の映画「母べい」では夫が治安維持法違反に問われて拘引された留守宅を守る母の寂しげな表情に重ねてこの曲が流れていて、このシーンでのこの曲はものすごく重苦しく聞こえていました。さわうたのお客様のお母さんへの思い出の多くは戦後のことでしょうか。『隣組』は平和が戻った時代、家事に勤しむお母さんの活きいきとした姿と重なっているのでしょうか。

戦後の明るさと母の存在感

戦後と母の思い出代表曲はずばり川田正子の童謡です。『みかんの花咲く丘』『鐘のなる丘』では手をつないでくれたお母さんも希望に燃えて若かったのでしょう。やさしい母の思い出は『さくら貝の歌』『浜辺の歌』。こういう曲はこれからはもうずっと歌い継がれて行くのでしょうか。

戦後十年経って作られた映画『喜びも悲しみも幾年月』は慈しみ合う夫婦愛を唱い上げて大ヒット。「お母さんに連れられて映画館に行った」のも懐かしい思い出でした。『母さんの歌』はこの歌そのものの暮らしたと振り返る方がいました。おととつと、お父さんの思い出の曲もありますよ。えっつ、あつ、もう紙数が少ない？ それじゃあ、オヤジは省略！（続）

さわごえ君 第9話
「紅葉」



第4回 ゆるゆるサロン ゲスト：トランペッター 菅野淳史

10月31日(月) 20:00~22:00 3,000円 詳細別紙

恒例第8回独唱会 9月13日(火)・15日(木) 多彩な選曲で楽しめます

プチ・ボイトレ 第3回 講師：斎藤敦子

9月27日(火) 13:30~15:30 1,000円

＜さわうたカレンダー＞

- 太い数字=さわうた
- 白抜き数字=まっちゃんお休み
- =ふりうた
- =プチコーラス
- ♡ =プチ・ボイトレ
- ☆ =第8回独唱会

2011(平成23)年		9/11~10/8					
日	月	火	水	木	金	土	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	1	
2	3	4	5	6	7	8	